Unitics

無線バーコードシステム（食品衛生法改正に伴うご提案）

2021年6月から「食品衛生法」により「管理の義務化」が求められています。

HACCP（ハサップ）に沿った衛生管理の制度化

原則として、すべての食品等事業者に、一般衛生管理に加え、HACCPに沿った衛生管理の実施を求める。ただし、規模や業種等を考慮した一定の営業者については、取り扱う食品の特性等に応じた衛生管理とする。（厚生労働省：食品衛生法等の一部を改正する法律の概要より抜粋）

「HACCP」とは…

HACCP（Hazard Analysis and Critical Control Point）による衛生管理

事業者自らが、食中毒菌汚染等の危害要因をあらかじめ把握（Hazard Analysis）した上で、原材料入荷から製品出荷までの全工程の中で、危害要因を除去低減させるために**特に重要な工程（Critical Control Point）を管理**し、製品の安全性を確保する衛生管理手法。

製造工程を継続的に監視し、記録を残すことで問題のある製品の出荷を未然に防ぐことができます。
事故が起きても、速やかに原因を特定して対応することができます。

Codexの7原則

原則1：危害要因の分析
原則2：重要管理点の決定
原則3：管理基準の設定
原則4：モニタリング方法の設定
原則5：改善措置の設定
原則6：検証方法の設定
原則7：記録と保存方法の設定

コーデックス委員会

国際連合食糧農業機関（FAO）及び世界保健機関（WHO）により設置された国際的な政府間組織。コーデックス委員会は、食品の安全性と品質に関して国際的な基準を定めており、WTO協定で国際基準とされている。

参考資料／厚生労働省：食品衛生法等の一部を改正する法律の概要、背景・趣旨、改正概要 等

「無線バーコードシステム」の導入により“製品の安全性を確保”します。

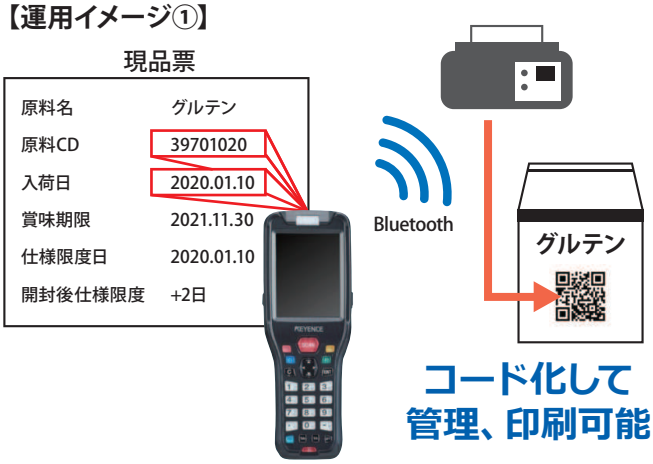
（裏面をご覧ください）

ハンディターミナル導入で衛生管理の「見える化」を実現

[BT-W250であれば・・・]

入庫時、バーコードが無くても、ラベルとして発行可能！
⇒原料コード、賞味・有効期限、重量など一緒にバーコード化！

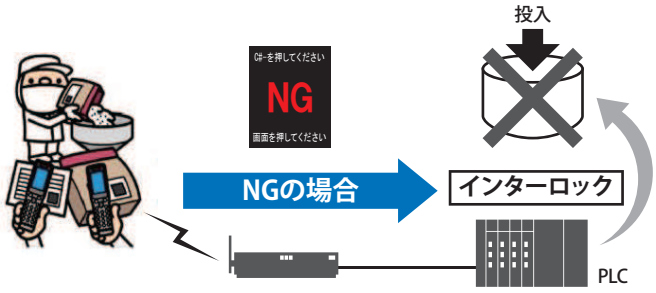
【運用イメージ①】



コード化して
管理、印刷可能

目視がなくなることによる品質管理の向上！
チェックしたことをデータとして記録
⇒トレーサビリティも可能！

【運用イメージ②】



インターロックまで含めて実装すれば、
【ポカよけ】が可能です。

ユニティクス「無線バーコードシステム」のご案内

当社が開発した通信システムにより、ハンディターミナルとPCの通信がより快適に。

「無線バーコードシステム」は、KEYENCE社製ハンディターミナルを活用して、
様々な現場作業に合わせて使いやすく開発するシステムです。

共通開発ツールにて開発

対応機種 | BT-W70 series ／ BT-W80 series ／ BT-W100 ／ BT-W150 ／ BT-W200 ／ BT-W250 ／ BT-W300 ／ BT-W350 ／ DX series

通信ベースパッケージ

無線バーコードハンディターミナル側の通信ソフトウエアとPLC側の通信ソフトウエアの雛形を提供致します。

【ご提供価格】￥158,000

カスタムアプリケーション

必要に応じてアプリケーション作成や現場での調整作業を行います。

【ご提供価格】￥500,000～

「無線バーコードシステム」についての詳しい内容は、下記までお問い合わせください。

Unitics 株式会社ユニティクス TEL:092-707-0267

〒810-0022 福岡市中央区薬院3-12-10-410
FAX:092-707-0268 E-MAIL:info@unitics.jp

ユニティクス 検索 https://www.unitics.jp

2024-0830